

2019 年度

京都教育大学附属京都小中学校

自己評価実施計画書

## 1. 本校の基本情報

2019年4月現在

(1)学校名	【義務教育学校】京都教育大学附属京都小中学校
(2)所在地	(東エリア)京都市北区小山南大野町1番地 (西エリア)京都市北区紫野東御所田町37番地
(3)学級数等	普通学級：27学級(1学年3学級) 収容定員864人(1学級32人) 特別支援学級：6学級 収容定員48人(1学級8人)
(4)児童生徒数	864人(男子423人・女子441人)
(5)教職員数	校長(併任)1, 副校長2, 主幹教諭2, 教諭51(うち任期付教諭7), 養護教諭2, 非常勤講師22, ALT3, 事務職員5(専任2, 事務補佐員3), 栄養士1, 給食調理員4, 用務員2

## 2. 本校の教育目標

～未来の社会に躍動する生徒の育成～

(1) 高い知性 (2) 豊かな感性 (3) 柔軟な創造性 (4) 逞しい心身 (5) 敬愛の精神  
急速にグローバル化、情報化する21世紀型社会において、社会の変化に対応しつつ、主体的に社会と関わり、国際社会の形成者として必要な資質・能力を上記5つの柱を中心に総合的に育成する。

## 3. 京都教育大学附属学校園の目的

教育の実験、実証並びに実習の機関として、本学に附属学校(幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校及び特別支援学校)を置く。(本学学則第56条)

本学附属学校は、児童、生徒又は幼児に対して、学校教育法に定めるところにより、教育又は保育を行なうとともに、本学における児童、生徒又は幼児の教育又は保育に関する研究に協力し、本学の計画に従い、学生の教育実習の実施に当ることを目的とする。(本学附属学校規程第2条)

## 4. 本校の学校教育計画(年度重点目標)

- (1) 生徒の望ましい成長に資する日常の教育活動のさらなる充実を図る。
- (2) 義務教育9年間で資質・能力を育成するための教育課程を実施する。
- (3) 生活力・社会性を伸張させる義務教育9か年の特別支援学級教育課程を試行する。
- (4) 義務教育学校の教育効果を検証する。

## 5. 附属学校園の機能向上に関する取組

- (1) 教育実習指導のより一層の充実及び教育実習の改善を図る。
- (2) 大学の方針に基づく教員養成及び実践的教育研究に協力する。
- (3) 地域の教育力向上への貢献及び教育研究活動の成果の公表を図る。
- (4) 業務改善及び教職員の働き方に関する取組を推進する。

## 6. 本校の特色

2003年度より、小学校・中学校が協働して取り組んできた4-3-2区分制の小中一貫教育システム開発の実績により、2017年度より、「義務教育学校」へ移行した。義務教育9か年に教科型「英語学習プログラム」、科学的思考力を育成する「CASEプログラム」を開発するなど、小中一貫教育システムのフロントランナーとして成果を発信している。2018年度より文部科学省研究開発学校指定を受けて研究を推進している。